

令和5年度 学校運営連絡協議会実施報告書

1 組織

- (1) 協議会名称
東京都立江北高等学校 学校運営連絡協議会（全日制課程）
- (2) 事務局の構成
総務部主任（事務局長）、教務部主任、副校長 計3名
- (3) 内部委員の構成
校長、副校長1名、経営企画室長、教務部主任、生徒部主任、進路部主任、保健部主任、総務部主任
計8名
- (4) 協議委員の構成
元都立高校校長1名、PTA会長、同窓会会長、近隣中学校長、近隣小学校長、近隣町内会役員、警察署少年係長、消防署出張所長 計8名

2 令和4年度学校運営連絡協議会の概要

- (1) 協議会
 - ① 第1回 令和5年6月16日（金）（内部委員8名 協議委員8名）
 - (ア) 協議委員、評価委員の委嘱 (イ) 本会設置要綱 (ウ) 令和5年度学校経営計画
 - (エ) 令和4年度学校経営報告 (オ) 令和4年度協議会報告、学校評価アンケート分析結果
 - ② 第2回 令和5年10月20日（金）（内部委員8名 協議委員6名）
 - (ア) 今年度の取組状況 (イ) 学校評価アンケート (オ) 今後の教育活
 - ③ 第3回 令和6年1月13日（金） 書面開催（内部委員8名 協議委員8名）
 - (ア) 今年度の取組状況 (イ) 学校評価アンケート結果 (ウ) 今後の学校行事について
 - (エ) 防災教育推進事業実施報告
- (2) 評価委員会
 - ① 第1回 令和5年10月20日（金）（内部委員2名 協議委員2名）
 - (ア) 学校評価アンケート評価項目の検討 (イ) 今後の予定（日程・回収方法）
 - ② 第2回 令和6年1月13日（金）（内部委員2名 協議委員2名）

3 学校運営連絡協議会による学校評価（学校評価報告）

- (1) 評価の観点
「学校への理解」「学校への意欲」「学校の実践」の観点で実施する。
- (2) アンケートの実施時期、対象、規模
（実施時期）12月
（対象：規模）生徒：847人 保護者：572人 教職員：60人 近隣住民：23人
※Microsoft Forms を活用しスマートフォン等で回答
- (3) 主な評価項目
 - ① 学校生活満足度 ② 授業に関して ③ 生活指導に関して ④ 行事に関して ⑤ 施設に関して
- (4) 評価結果の概要並びに分析・考察
別紙のとおり

4 学校運営連絡協議会の成果と課題

(1) 学校運営連絡協議会を実施して得られた成果

- ・新型コロナウイルス感染症の5類感染症移行後の学校行事について、協議員の意見や助言を踏まえ、より効果的な対策や工夫を講じることができた。
- ・自転車乗車時のヘルメット着用について、協議員からの「江北生が地域の小中学生の見本となってほしい」との意見を踏まえ、全教員の組織的な取り組みをより一層推進することができた。
- ・校内予備校について、協議員の意見や助言に基づき、効果的な運営について校内での検討が充実した。

(2) 学校運営連絡協議会を実施して明らかとなった課題

- ・主体的に社会に貢献する生徒の育成に向けた取組をより一層充実させてほしいとの要望がある。
- ・保護者や地域への情報の発信について更なる工夫が必要ではないかとの意見がある。

5 学校運営連絡協議会及び学校評価を活用した教育活動の改善事項

- ・自主学习室について平日の5日間及び土曜授業実施日の開室や、学生のチューターを配置するとともに、学習機の再整備を行うなど、生徒の学力向上に向けた取り組みを強化し、国公立大学の合格者が過去最高となった。
- ・新型コロナウイルス感染症の5類感染症移行に伴い、町内会等のイベントへ協力を再開した。
- ・地域への情報発信として、年間12回発行した江北だよりをホームページや学校掲示板に掲載するとともに、町会や自治会に50部配布した。